

副専攻名 言語学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、言語学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論、音声学を必修とし、言語学の各科目群から、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・言語に対する高い関心をもつようになる。
- ・言語の構造と歴史他について、体系的に理解する。
- ・言語データの収集と分析方法について、基礎的知識をもつ。
- ・言語学と関連する領域についてもその内容を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
11050	言語学概論1	・言語学の基本的な概念と考え方を理解する。 ・多様な言語の実例と理論のエッセンスに触れる。 ・音韻論、形態論、統語論などの分野の基礎固めをする。	1～4	2	
11051	言語学概論2	・言語学の基本的な概念と考え方をさらに理解する。 ・多様な言語の実例と理論のエッセンスについて更に学ぶ。 ・意味論、社会言語学、比較言語学などの分野の基礎固めをする。	1～4		2
42506	音声学1	・言語音の産出の仕組みを理解する。 ・個別子音の聞き取り、産出、記述が出来るようになる。	2～4	2	
42507	音声学2	・個々の言語音の聞き取り、産出、記述に更に習熟する。 ・ブロンディーについての理解を深める。 ・音響的分析の理論と方法を学ぶ。	2～4		2
42501	言語学史	・言語研究の歴史的な流れを理解する。 ・言語学の基礎をなす考え方がどのように現れてきたのかを学ぶ。 ・言語学の古典的な著作に触れる。	2～4		2
42502	比較言語学	・言語の歴史的研究についての理解を深める。 ・原典講読を通じて、言語間の比較研究のあり方、方法論を理解する。	2～4		2
42503	社会言語学	・形態論の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた形態分析の実際を学ぶ。 ・形態分析の応用力を身につける。	2～4		2
42504	言語理論研究A	・言語学の特定の理論について基本を理解する。 ・その理論に基づいた言語データの分析方法を学ぶ。 ・分析結果を討論し意見のまとめ方を身につける。	2～4	2	
42505	言語理論研究B	・言語学の特定の理論について基本を理解する。 ・その理論に基づいて言語データの分析方法を学ぶ。 ・分析結果のプレゼン法を身につける。	2～4		2
42508	ヨーロッパの諸言語1	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2～4	2	

副専攻名 言語学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、言語学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論、音声学を必修とし、言語学の各科目群から、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・言語に対する高い関心をもつようになる。
- ・言語の構造と歴史他について、体系的に理解する。
- ・言語データの収集と分析方法について、基礎的知識をもつ。
- ・言語学と関連する領域についてもその内容を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
42509	ヨーロッパの諸言語2	・対象言語の文法解析ができるようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2～4		2
42510	アジア・アフリカ等の諸言語1	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2～4	2	
42511	アジア・アフリカ等の諸言語2	・対象言語の文法解析が出来るようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2～4		2
42512	個別言語論1	・対象言語の文法解析が出来るようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2～4	2	
42513	個別言語論2	・タイプの異なる言語の学習を通じて、母語への意識を深める。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2～4		2
42514	音韻論基礎	・音韻論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた音韻分析の方法を学ぶ。 ・音韻分析の基本を身につける。	2～4		2
42515	音韻論研究	・音韻分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた音韻分析の実際を学ぶ。 ・音韻分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2～4	2	
42516	形態論基礎	・形態論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた形態分析の方法を学ぶ。 ・形態分析の基本を身につける。	2～4	2	
42517	形態論研究	・形態論の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた形態分析の実際を学ぶ。 ・形態分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2～4		2

副専攻名 言語学**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

すべての学生を対象として、言語学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論、音声学を必修とし、言語学の各科目群から、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・言語に対する高い関心をもつようになる。
- ・言語の構造と歴史他について、体系的に理解する。
- ・言語データの収集と分析方法について、基礎的知識をもつ。
- ・言語学と関連する領域についてもその内容を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
42518	統語論基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・統語論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた統語分析の方法を学ぶ。 ・統語分析の基本を身につける。 	2～4	2	
42519	統語論研究	<ul style="list-style-type: none"> ・統語分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた統語分析の実際を学ぶ。 ・統語分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。 	2～4		2
42520	意味論基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・意味論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた意味分析の方法を学ぶ。 ・意味分析の基本を身につける。 	2～4	2	
42521	意味論研究	<ul style="list-style-type: none"> ・意味分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた意味分析の実際を学ぶ。 ・意味分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。 	2～4		2
42522	フィールド言語学	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの意義を考える。 ・フィールドワークに出る前のスキルを身につける。 ・フィールドワークの計画を立てられるようにする。 	2～4	2	
42523	フィールド言語学実習	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドに出て調査の実際を体験し、技術を磨く。 ・収集したデータの扱い方を学ぶ。 ・データのまとめ方とプレゼンの方法を学ぶ。 	2～4	2	
42524	応用言語学実習	<ul style="list-style-type: none"> ・言語音の物理的性質の基礎を学ぶ。 ・PCを用いた分析方法を身につける。 ・言語分析に用いる動画・音声などコンテンツの扱いに慣れる。 	2～4		2